

御池岳（1247m）関西百名山・花の百名山

2025 年 4 月 19 日 Shiba

2025 年 4 月のバスハイクは鈴鹿山脈最高峰の御池岳。国道 306 号の鞍掛トンネル西側の無料駐車をスタートして鞍掛峠、鈴北岳、御池岳ここからさらにボタンプチまで足を延ばし、コグルミ谷を下るコースを巡った。

9:30 の時点で鞍掛トンネル東西の無料駐車場は既に満車。しかしここはバスハイクの強み、何ら心配することなくバスから下車。体こなし



鈴北岳へ向かう稜線

をしてから 9:35 にスタート。登り始めからいきなりの急登で春の陽気に汗ばむほど。30 分程で鞍掛峠。ここから 5 分～10 分程登り続けると道も少し緩やかな稜線歩きとなる。先を見るとまだところどころに残雪が残っている。周りの木々は落葉しているため見通しはいいが、今日は黄砂のためか遠くは霞んでいる。後ろを振り返ると屏風のように立ちはだかる霊仙岳までは見えるが、その後ろに見えると思われる伊吹山は確認できない。

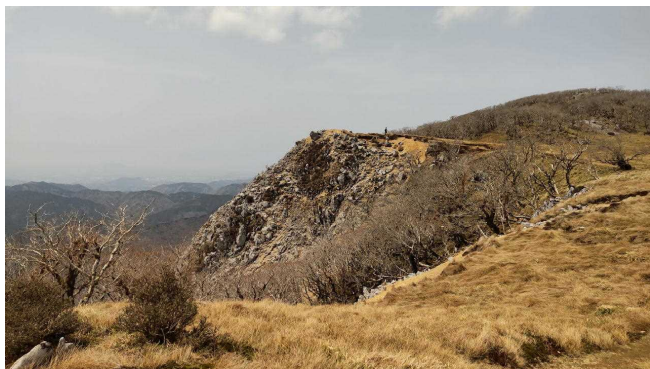
鈴北岳には 11:20 に到着、広い平坦地になっているのでここで早めの昼食休憩。ここからは



御池岳山頂にて

緩やかに一旦下り登り直して 12 : 20 に御池岳に到着。ここからの展望は良いとは言えないので、集合写真撮影もそこそこにボタンブチへ移動。御池岳からボタンブチにかけては広いテーブルが琵琶側へ突き出た特異な地形になっている。そのボタンブチから見る天狗鼻は石垣の様にせり上がっていて城郭跡を連想させる。本来は眺めがいいはずであるが黄砂のせいか琵琶湖畔までは確認できないのが残念である。

下山はゴクルミ谷への下りである。9 合目付近では 100m 程谷合の残雪を下るところもあり、



ボタンブチから天狗鼻を見る

6 合目ぐらいまで残雪がみられる。鈴鹿山系には花の百名山が 3 つあるがここ御池岳もその一つである。落葉樹の新芽はまだ膨らんでもいないが、そこはやはり花の百名山。小さな花が主体ではあるが至るところに花が見られる。皆さん下りの余裕で、珍しい花に写真を撮りまくっている。また御池岳から直下の谷の出会いの所では 3 人程の人がカメラで待ち構えている。しばらくすると可愛らしい縞リスの姿を見ることができたことも感激。1~2 週間ほど前まではまだ寒さに震えていたが急激な変化の春の陽気に快い一日を過ごさせてもらえた。

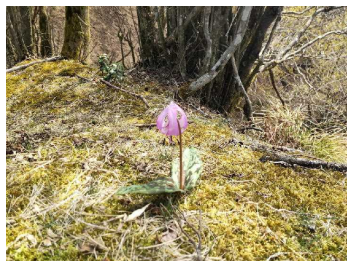


九合目付近の残雪

◆メンバー：Fu, Na, Hi, Shi, Na, Ku, Ku, Ki, No, Sa, Ho, Ta, Ka 計 13 人

◆コース：鞍掛トンネル東登山口駐車場 9:35～
鞍掛峠～鈴北岳～12:20 御池岳～天狗鼻～ボタ
ンブチ～15:00 コグルミ谷登山口

◆所要時間/歩行時間：5 時間 25 分/4 時間 40 分



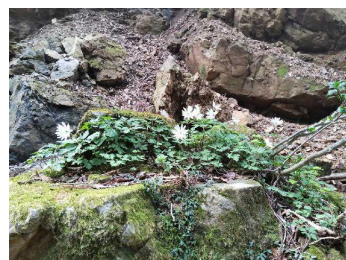
カタクリ



コバイモ



ヒトリシズカ



キクザキイチゲ

あとがき

スマホで見た時に、見やすくする意図で編集してみました。編集に対するご感想・ご意見をくだされば幸いです。

用紙サイズ：A6

文字サイズ：表題・本文/13 p

写真説明文/10.5 p

写真サイズ：写真大/1280×720 pixel

写真小/720×540 pixel

余白：上下左右各 5mm

印刷する時は設定を複数にし、「A4」1枚あたりのページ数を「4」もしくは「6」にして行ってください。